

令和2年度 農業科（資源動物科）

| 教科 | 農業 | 科目 | 畜産 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
|-------|----------|----|----|-----|-----|----|-----|
| 使用教科書 | 畜産（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ

酪農及び肉牛飼育は食料供給において重要な役割を果たしており、地域経済にとり重要な産業であることを理解してほしいと思っています。畜産物の生産から消費までのフードシステムを理解し、実践的な畜産経営能力を養っていきましょう。そして体験的、継続的な飼育活動や観察、実験、調査等の学習を通して、乳牛・肉牛の飼育に応用できる知識、技術を養ってほしいと願っています。

2 学習の到達目標

- 乳牛・肉牛の形態や習性の特性および生理・生態的な特性を理解させる。
- 乳牛・肉牛の特性に照らして、合理的な飼育管理技術を習得し、飼育環境を理解させる。
- 乳牛・肉牛の飼育管理と生産性と、生産性や生産物の品質向上との関係を理解させる。
- 畜産経営の現状とそれを取りまく環境を理解させる。
- さまざまな観点から畜産経営を改善する方法を考えさせる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・技能 |
|---|---|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛及び肉牛の特性に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・畜産経営の収益構造について関心をもちることができる。 ・教材として乳牛について、観察や実習による実践的な学習に意欲的に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛及び肉牛の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 ・地域農業や学校農場の飼育実態に応じた乳牛及び肉牛の飼育計画や経営管理について考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・品種の選定や施設の利用など飼育計画に必要な技術を習得している。 ・乳牛及び肉牛における飼育管理や飼料給与についての技術を習得している。 ・乳牛の改良および繁殖に関する技術を習得している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛及び肉牛の基本的な特性について、正しく理解し、知識を身につけている。 ・経営の収益構造を理解している。 ・乳牛及び肉牛の飼育体験を通して、各生育段階の飼育に関する知識を身につけている。 |
| 評 価 方 法 | 学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価等 | 学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価等 | 学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価等 | 学習状況の観察 ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価等 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|-----|-----------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|--|--------------------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 肉牛の特性 | 肉牛の家畜化 肉牛の一生と生産 肉牛の飼育動向 | ○ ○ ○ ○ | | | ○ | a: 乳牛・肉牛の特性に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 乳牛・肉牛の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 品種の選定や施設の利用など飼育計画に必要な技術を習得している。 d: 肉牛の基本的な特性について、正しく理解し、知識を身につけている。 経営の収益構造を理解している。 家畜の病気に対する予防衛生管理を理解し、知識を身につけている。 | 学習状況の観察 |
| | 肉牛の品種と選び方 | 世界の肉牛と品種 日本の肉専用牛 審査基準 | ○ ○ | ○ | | ○ | | ノートやレポートの記述 |
| | 乳牛の消化生理 | 反すう動物の胃の構造と消化吸収 | ○ | ○ | | | | 定期考査の結果 |
| | 乳牛の泌乳生理 | 乳房の構造 乳排出の仕組み 搾乳の方法 牛乳生産の仕組み | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ | | 自己評価 |
| 2学期 | 肉牛の肥育 | 肥育素牛の選定 肥育前期及び後期の飼養管理 肉質と飼養管理 | ○ | ○ | ○ ○ | ○ ○ | a: 乳牛・肉牛の特性に関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 乳牛・肉牛の飼育に関する科学的な見方と課題解決できる実践力、判断力を身につけている。 c: 乳牛・肉牛の改良に関する技術を習得している。 d: 乳牛・肉牛の基本的な特性について、正しく理解し、知識を身につけている。 | 学習状況の観察 |
| | 乳牛の繁殖 | 発情周期に伴う卵巣の変化 種付けの理論 人工授精 受精卵移植 | ○ ○ ○ | ○ | ○ ○ | ○ ○ | | ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価 |
| 3学期 | 肉牛の経営 | 肉牛経営の特性 発育・肉質と経営 肉牛経営の今度と制度 | ○ | ○ ○ ○ | | ○ | a: 畜産経営の収益構造について関心をもつことができる。 b: 地域農業や学校農場の飼育実態に応じた乳牛の飼育計画や管理について考えることができる。 c: 乳牛における飼育管理および飼料給与についての技術を習得している。 d: 乳牛の飼育体験を通して、各生育段階の飼育に関する知識を身につけている。 経営の収益構造を理解している。 | 学習状況の観察 |
| | 飼料設計 | 飼料給与の設計 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ノートやレポートの記述 定期考査の結果 自己評価 |

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。